

現代 加賀九谷 作家展

2026 1月14日(水)ー19日(月) ※催し最終日は
[令和8年] 午後5時開場

[会場] 阪急うめだ本店9階 祝祭広場

[主催] 現代加賀九谷焼実行委員会(加賀九谷陶磁器協同組合・九谷焼伝統工芸士会)・阪急うめだ本店
[共催] 加賀市 [後援] 加賀商工会議所・北國新聞社 [特別後援] (一財)伝統的工芸品産業振興協会・日本伝統工芸士会

展示販売
入場無料

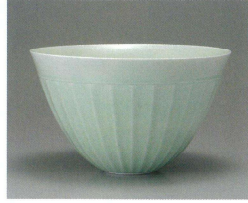
九谷の糸縁

伝統を守り、若手へ繋ぐ

M O D E R N K A G A K U T A N I

加賀九谷陶磁器 協同組合

※表示価格は、すべて消費税を含んだ税込価格です。



01 大鉢(28面)
径39.0cm×高さ23.5cm
1,100,000円

■山本 篤
Asumi Yamamoto



2017 第20回 日本伝統工芸士会作品展
京瀬川陶芸館 受賞
平成29年度 全国伝統的工芸品公募展
内閣府認定受賞 受賞
2018 第2回 三井ゴールデン匠賞 受賞
石川県伝統工芸士会 会長就任
2019 市内より依頼を受け天皇皇后陛下 御記入器を制作
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用品を制作
2023 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 理事就任
2025 春の殿数 瑞宝章光栄受賞

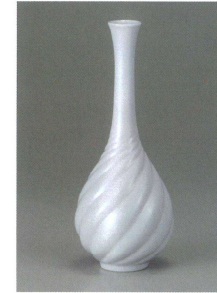


08 花器 イッチン幾何学
径13.2cm×高さ25.5cm
165,000円

■芋野 直樹
Naoki Asano



2013 経済産業大臣後援伝統工芸士に認定
2017 第40回伝統九谷焼工芸展にて石川県陶磁器
商工業協同組合理事長賞を受賞
イッチンという技法を継い日常食器を中心に作っ
ています。NY、東京、大阪、神戸、京都、名古屋、長野、
石川、高知で作品展



09 桜花淡雪釉 振り鶴首花瓶
径12.0cm×高さ28.0cm
198,000円

■前田 昇吾
Shogo Maeda



1985 石川県加賀市生まれ
2006 京都伝統工芸専門学校 陶芸コース 卒業
妙楽庵にて山本 篤氏に師事
ロクロ成形・世帯も成形を学ぶ
2015 九谷焼最良展示館にて解説・指導員として勤務
2018 伝統工芸士に認定される

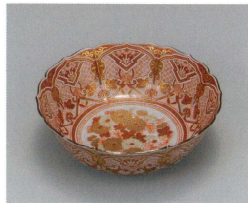


02 青華吉祥果実文 香炉
径10.8cm×高さ10cm
264,000円

■山本 長左
Chosha Yamamoto



2017 宮内庁より依頼を受け、青華金彩鳳凰の
図柄鈿子を制作
2019 四七く天皇 皇后 両陛下 御記入器を
息子と共に制作
即位の礼「慶賀の儀」に和食器六品目が
平成に続いて継続使用される
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用品の御印を
デザイン、制作
2022 令和四年春の殿数 瑞宝章光栄 受賞



03 赤絵細描菊図鉢
径19.8cm×高さ7.7cm
495,000円

■山本 芳岳
Hogoshi Yamamoto



1985 全国高校総体女子バレーボール競技に際し
皇太子殿下(現上皇陛下)に九谷焼赤絵細描
菊図鳳凰文煎茶碗制作
1996 高市産業大賞認定受給 伝統工芸士に認定
2006 日本橋三越本店にて初個展
以後各地で個展開催 現在に至る



10 加賀聖楠柚型小箱
縦7.2cm×横7.2cm×高さ7.1cm
27,500円

■山本 浩二
Koji Yamamoto



2012 金沢市九谷焼諸江屋ギャラリー片町にて
初個展
2013 第38回伝統九谷焼工芸展 初入選
2016 第39回伝統九谷焼工芸展 奨励賞
2017 石川県伝統的工芸品技術奨励賞 受賞
2022 伝統工芸士認定

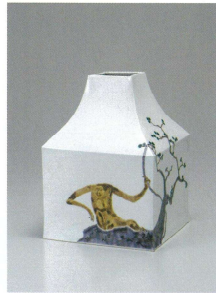


11 赤絵白磁描割唐草文プレート皿
縦25.2cm×横27.3cm×高さ4.2cm
440,000円

■山本 秀平
Syoshei Yamamoto



2013 第38回伝統九谷焼工芸展 新人賞
2014 第37回伝統九谷焼工芸展 入選
2015 第38回伝統九谷焼工芸展 技術賞
2018 第41回伝統九谷焼工芸展 技術賞
石川県伝統的工芸品技術奨励賞 受賞
2022 伝統工芸士認定



04 四方器 手長猿
縦24cm×横24cm×高さ33.5cm
385,000円

■北出 太郎
Taro Kitade



2014 改組 新 第1回日展 入選
2015 第37回日本新工芸展 審査員
日本新工芸会会員賞 受賞
改組 新 第2回日展 入選
2016 改組 新 第3回日展 入選
2017 第40回伝統九谷焼工芸展
保存会技術賞 受賞
2024 加賀温泉駅新幹線駅舎
椅子付虎図平鉢百九谷考鑑製



05 宝宝箱

■堀江祐子
Yuko Horie



宝宝箱「スクエア」
6.0cm×6.0cm×高さ4.0cm ¥88,000
宝宝箱「ヘキサゴン」
6.0cm×7.0cm×高さ3.0cm ¥88,000

2010 サンクトペテルブルクにおける「JAPAN ART
COLLECTION IN SAINT-PETERSBURG」に出展
2011-12 スイスにて「アート・イン・ターシャ・ナル
チュール・リッヒ」に講演出席
2015 ドイツ・マンハイム「GALERIE BOHNER」に出展
日本橋三越本店にて「女流作家—人展」
九谷焼伝統工芸士に認定される
2020 第22回 日本伝統工芸士会作品展
大館読者賞受賞



12 波に烏文様五寸輪花皿
径16.0cm×高さ3.0cm
17,600円

■寺前 琉生
Eishou Teramae



1992 皇太子殿下が当社の
「金蘭手長猿器」をお求め下さる
2007 三代琉生(英夫)は経済通商大臣から
「伝統工芸品産業功労者」として表彰
される
2019 三代琉生(英夫)の長男孝樹が初代目
として寺前琉生を継ぐ
2019〜2024 うめだ版急出展



13 付喪械 香炉
縦21.0cm×横32.5cm×高さ36.5cm
550,000円

■米谷 彰能
Akijoshi Komeya



1965 石川県加賀市大聖寺生まれ
1974 改組 青上(加賀市)窯修
2017年度 青上(加賀市)窯修
2017 日本陶磁会 現代陶磁展入選(あかし村)
四日市市立美術館コンペ2017ねこ
優秀賞受賞(鳴瀬御膳)
2018 安曇野市で青口アート展入選
2019 個展「天狗図」 オセア・パルンバ
が21世紀工芸家 選定(あかし村「鳴瀬の巻」)
2021 四日市市立美術館コンペ「とうぶつ」の題
にて優秀賞受賞(ワットマン)



06 青白釉 菓子鉢(輪繫)
径22.0cm×高さ5.3cm
220,000円

■山本 高寛
Takashi Yamamoto



2016 平成30年度石川県伝統産業優秀技術者
奨励賞表彰 受賞
2019 宮内庁より依頼を受け天皇 皇后 両陛下
御記入器を制作
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用品を制作
2022 第45回伝統九谷焼工芸展 技術賞 受賞
第24回日本伝統工芸士会作品展
秋田市賞 受賞



07 青華幾何学文 香炉
径10.0cm×高さ10.5cm
165,000円

■山本 大輔
Daiboku Yamamoto



2004 中部大学 経営情報学部 卒業 同年より、
父・山本邦幸(宮内庁常務制作)に師事
2008 石川県立九谷焼技術研修所 実習科
加賀コース 卒業
2016 九谷焼伝統工芸士に認定
2019 宮内庁より依頼を受け天皇 皇后 両陛下
御記入器を父と共に制作
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用品を父と共に制作
令和2年度石川県伝統産業優秀技術者
奨励賞表彰 受賞

青泉窯で制作の九谷焼大皿実物大バナーを特別展示

2024年3月16日、北陸新幹線の金沢〜敦賀間が開業されました。その節目とともに、加賀温泉駅も新たな姿に生まれ変わり、伝統的な和の美しさをまとった駅舎は、訪れる人をやさしく迎えています。そして2024年12月1日、駅の新幹線改札口を出た正面の壁面に青泉窯で制作・焼成した100枚を超える陶板を組み合わせた、直径2メートルの九谷焼の大皿3枚が展示されました。その実物大バナーが、今回特別に展示。九谷焼の迫力と繊細さをぜひご体感ください。



青手竹虎図平鉢
古九谷亭



赤絵許由図鉢鉢
富本屋繁享

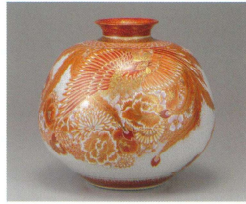


色絵百花手唐人物図大平鉢
古九谷亭

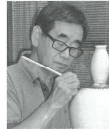
M O D E R N K A G A K U T A N I

九谷焼伝統工芸士会

表示価格は、すべて消費税を含んだ税込価格です。



14 赤絵瑠璃鳥花器
縦34.0cm×横34.0cm×高さ32.0cm
473,000円



■福田 良則
Yohinori Fukuda

日本伝統工芸士作品展 入賞
創造美術展 東京都知事賞
石川県伝統産業優秀技術者 県知事表彰
創造美術展最高賞 大賞受賞
九谷焼伝統工芸士会 会長就任
香の秋祭 瑞宝単光章 受章

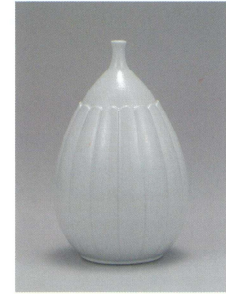


21 扁壺 春模様
縦27.0cm×横30.0cm×奥行8.0cm
330,000円



■宮本 暁
Akira Miyamoto

2005 清南斎主人賞受賞 伝統工芸士に認定される
2016 中部経済産業局長賞受賞
(株)ソーエー社陶器制作
2017 県立中央病院陶器制作
2019 日本伝統工芸士会功労者表彰受賞
2021 日本伝統工芸士会作品展にて東京百貨店賞受賞
2024 伝統的工芸品産業功労賞経済産業大臣表彰
全国各地で展覧多数開催 現在に至る
口煎作家 石川県陶芸協会会員 伝統工芸士



22 八寸花瓶白磁 薔
径16.0cm×高さ24.0cm
220,000円



■宮腰 徳二
Tokaji Miyaguchi

1991 知寄市 特島陶器研究所
2006 伝統工芸士認定 九谷焼成形部門
2012 独立



15 香炉 竹林七賢人の図
径11.0cm×高さ13.5cm
660,000円



■福島 武山
Tsunshi Fukushima

1987 日本工芸会正会員 認定
2001 伝統九谷焼工芸展大賞 受賞(合計2回)
2005 石川県指定九谷焼技術保存会会員に認定
2011 日本伝統工芸士会 副会長就任
2016 第1回 二坪コ アレンジ 受賞 受賞



16 陶彫「勢至菩薩」千年の守り本尊
縦14.0cm×横14.0cm×高さ22.0cm
385,000円



■宮本 直樹
Naoki Miyamoto

1964 彫彫彫彫入門
1967 日原彫彫入門入選
1972 現代美術展入選 受賞
1982 新技術社入選 受賞
2010 第10回日本伝統工芸士会賞 受賞
2016 第39回伝統九谷焼工芸展 受賞(技術賞)
日本陶彫会会員
九谷焼伝統工芸士

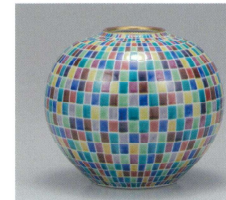


23 水指 風華
径16.5cm×高さ17.0cm
253,000円



■浅蔵 一華
Kanako Asakura

1996 金沢美術工芸大学 大学院産業デザイン専攻修了
五ノ宮深香陶窯にて創作活動開始
健康・グループ展を中心に活動
2015 伝統工芸士・九谷焼加飾部門に認定される
2024 宝沢焼・第六回大茶会 工芸作品公募展
北越新聞社社展覧
2025 第48回 伝統九谷焼工芸展 奨励賞
金沢県・第六回大茶会 工芸作品公募展 奨励賞



24 節壺 色絵モザイク文
径24.0cm×高さ20.0cm
140,800円



■三ッ井 達也
Tatsuya Mitsui

1972 石川県小松市生まれ
1998 京都大学大卒 卒業
1999 京都府立陶工高等技術専門学校 卒業
地元石川に異なり 父三代為吉に師事
2010 伝統工芸士 認定



17 彫釉彩シマエナガ文陶額
縦58.0cm×横47.0cm×厚4.0cm
242,000円



■山口 義博
Yohikito Yanaguchi

1994 日展金賞授賞 日展入選18回
2002 伝統工芸士に認定される
2002 現代美術展最高賞受賞
2009 日本伝統工芸展 入選
2012 石川県伝統産業優秀技術者功労者表彰
2014 伝統九谷焼工芸展技術賞受賞
2021 伝統的工芸品産業功労賞経済産業大臣表彰
2022 香の秋祭 瑞宝単光章受章



18 獅子図菓子鉢
径22.0cm×高さ8.0cm
440,000円



■山中 國盛
Yukiko Kido

2002 日本現代工芸美術協会本会員就任
現代工芸賞 本会員賞 受賞
2012 伝統九谷焼美術展大賞受賞
石川県美術展覧会 他賞2
2013 石川県立九谷焼技術研究所 講師に就任
2017 小松市卓越技術賞
2022 九谷焼技術保存会正会員



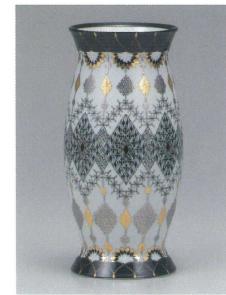
単品販売 154,000円

25 焼締色絵淡墨下絵鉢揃
径21.5cm×高さ5.0cm
770,000円



■木戸 優紀子
Yukiko Kido

2005 「妙島陶房」山本長先生(宮内庁御用陶作家)に師事
2019 伝統工芸士認定(加飾部門)
2025 第48回伝統九谷焼工芸展 北越新聞社賞
第65回石川の伝統工芸展 石川県知事賞(最高賞)
第72回日本伝統工芸展 入選
九谷・新世代の意匠 龍長市公認賞 意匠賞(図案賞)



26 金白金細描彩花器
径13.0cm×高さ27.5cm
275,000円



■石富 俊二郎
Syunjiro Kibitani

1975 石川県金沢市生まれ
1997 石川県立九谷焼技術研究所卒業
吉田典統氏(国指定重要無形文化財保持者 輪島金箔)に師事
2016 第39回伝統九谷焼工芸展奨励賞 受賞
2021 経済産業大臣指定伝統工芸士に認定
2023 第25回日本伝統工芸士会作品展 備前市長賞受賞

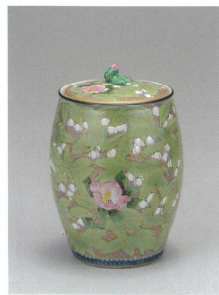


19 蓋のある節壺(風神雷神小僧 金箔)
径20.0cm×高さ31.0cm
935,000円



■美山 富
Tomi Miyama

1970 文化勲章受章 故浅蔵五十吉先生門下として師事
1993 日本現代工芸展 会員賞受賞
伝統九谷焼工芸展 優秀賞
日展 特選受賞
2001 経済産業大臣認定九谷焼伝統工芸士
2017 経済産業大臣功労者表彰
2022 秋の秋祭 瑞宝単光章



20 水指「春待ち」
縦14.0cm×横14.0cm×高さ18.0cm
308,000円



■高 聡文
Toshiaki Taka

2011 日本伝統工芸展入選
2015 ワイン・ドバイ・パリ・広州にて展覧開催
ウィーン・ドバイ・パリ・広州にて展覧開催
アジア人初登壇される
2018 最優秀九谷焼匠に招聘
2010 日本伝統工芸士認定



特別出展

27 葡萄蒔絵白中聚
径6.8cm×高さ6.8cm
396,000円



■針谷 祐之
Masayuki Haraya

2016 全国伝統的工芸品公募展
内閣府認定大賞受賞
2017 日本伝統工芸士作品展
日本伝統工芸士会会長賞受賞
2020 山中華道伝統工芸士会 会長就任
2021 ゴールデン・バグ・アワード グランプリ受賞
2024 香の秋祭 瑞宝単光章受賞



ごあいさつ

加賀市長
山田 利明

本年も阪急うめだ本店の会場におきまして、作家及び関係各位のご尽力のおかげで本展覧会が開催されますことに心から感謝を申し上げます。

石川県加賀市は九谷焼発祥の地であり、先人が磨き上げた伝統の技や精神が脈々と受け継がれております。また九谷焼のほか、山中塗や特色の異なる3つの温泉地、豊かな自然と日本海の幸、大聖寺十萬石の城下町に由来する食文化など深みのある文化が根付いています。

北陸新幹線加賀温泉駅の隣接施設「ゆのまち加賀」では、加賀九谷陶磁器協同組合の皆さまのご協力で完成した直径2メートルの九谷焼の大皿をはじめとした数多くの工芸作品が織りなす魅力的な空間で皆様をお迎えいたしております。

本展覧会では、多くの皆様に本市に受け継がれた伝統工芸の魅力やその作品に込められた作り手の情熱、卓越した技術の輝きを感じていただくとともに、次の機会には、関西の奥座敷としても知られ、お車でもアクセスのしやすい加賀市にぜひお越しいただけることをご期待申し上げます。



ごあいさつ

日本伝統工芸士会 副会長
石川県九谷焼伝統工芸士会 相談役
加賀九谷陶磁器協同組合 理事長
山本 篤

今年も阪急うめだ本店様の多大なるご支援により、個性ある作品を多数展示いたしました。多彩な技法の広がり九谷焼の大きな魅力ですが、祝祭広場に展示場所を変更し新しい演出が施された会場では、ご来場の皆様の目をこれまで以上に楽しませてくれるものと存じます。準備を進めていただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

新たに開業した北陸新幹線「加賀温泉駅」「小松駅」、特に加賀温泉駅舎内には、若手とベテラン作家が一体となって制作した古九谷写しの大皿を埋め込んだ壁面があり、高く評価をいただいております。会場でもその意匠を実物大に再現したバナー等をご覧いただける工夫をいたしました。

九谷焼発祥の地として加賀の地が更に注目を集め、関西圏にお住まいの皆様が北陸への旅をご計画いただくことは、地震と水害から復興途中の能登半島と石川県への大きな支援にもなります。これからも九谷焼と共に北陸、石川へのご関心をお寄せいただきますよう、何とぞ宜しく願い申し上げます。



名窯 青泉窯再生プロジェクト～伝承の「型打ち技法」～

古九谷から伝承されている伝統的「型打ち技法」。青泉窯で明治から昭和にわたって眠っていた貴重な「型」を使用し、若手から重鎮までの現代の九谷焼作家によって、意欲的な新作が生まれました。普段使いに取り入れやすい作品の数々をぜひご覧ください。

青泉窯とは

明治元年に初代宇与門によって加賀市柴谷の地に北出窯として興され、後に現代の九谷焼に大きな影響を与えた北出塔次郎や北出不二雄を輩出することになる、九谷焼の歴史において重要な窯元です。2014年の北出不二雄の他界後、青泉窯は休止状態が続いていますが、加賀九谷陶磁器協同組合や地元有志の集いにより、現代における加賀九谷焼文化の発信基地として再生プロジェクトがスタートしています。

青泉窯の「型」から
生み出された
新作を販売

展示販売 受注制作

白磁に出展作家による絵付けをした作品を販売予定。

●受注制作…白磁作品の納期は約3カ月程、絵付作品の納期は約6カ月程になります。会場にてご相談承ります。



会場でアンケートに
お答えいただいた

各日先着100名様

**オリジナルクリアファイル
1枚プレゼント(各日2種類)**

※絵柄はお選びいただけません



Hankyu

阪急うめだ本店

〒530-8350
大阪市北区角田町8番7号
電話 (06)6361-1381

連日午前10時～午後8時
(阪急メゾン大阪、レストランなど一部売場を除く)
※営業時間が変更になる場合がございます。